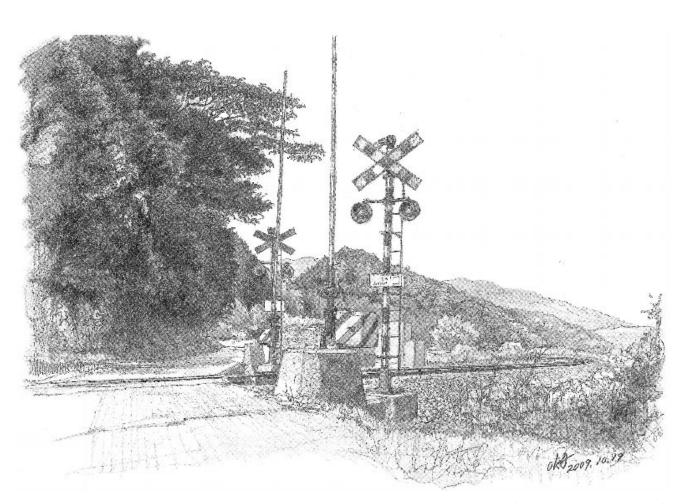
# 子どもの権利・教育・文化 全国センター

ニュース 第73号 2022年11月22日

子どもの権利・教育・文化 全国センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館5F TEL 03-5211-0133 FAX 03-5211-0134

ホームページ https://kodomo.p-web.biz/ メールアト・レス kodomo@kodomo.p-web.biz



画・岡本正和(元山口県小学校教員)

#### みんなで 21 世紀の未来をひらく教育のつどい一教育研究全国集会 2022 in 高知

# 3年ぶりに現地開催

「教育のつどい 2022 in 高知」は、8月18日 ~21日、「憲法と子どもの権利条約がいきて輝く教育と社会を確立しよう」をメインテーマに、高知市の会場とオンラインの併用で開催されました。30の分科会に288本のレポートが提出され、4200人を超える教職員、保護者、市民が参加しました。



実行委員会代表委員の中村雅子さん(民主教育研究所代表運営委員)が、「教育は、人間と人間のふれあいによって生命を育てること。4日間、心と心の通い合う学びと交流を深めていこう」と開会挨拶。

現地実行委員長の鈴木大裕さん(教育研究者)は、「教 員の脱技能化と単純労働化が進む今だからこそ、子ども を固有名詞で語り、その成長と葛藤の記録をわかちあっ て交流しよう」とよびかけました。

波岡知朗実行委員会事務局長が討論のよびかけを行い、 田中優子さん(法政大学名誉教授)が「多様性を包み込 む社会へ」と題して記念講演を行いました。

## 多様性の包摂と教育



田中さんは、「多様性の包摂」は、「教育に携わる者にとって、一人とりの能力をどう伸ばしていくのかを考える時に、くて

はならない課題」であり、どのような教育機関も「多様性を容認します」「あなたのことをあなたとして大事にします」というメッセージを発する必要があると思います」と話しました。



多様性を包摂するためには「誰もが自由に議論できる 社会」が不可欠だとして、大学は「多様な背景をもつ学 生と教職員が安心して創造的に学び、働いて個性を伸ば せる場でありたい」と考え、「法政大学ダイバーシティ宣 言」を出し、「法政大学憲章」に「自由を生き抜く実践知」 の獲得を掲げたことを紹介しました。

ジェンダー平等に関連して、「潜める天才(=才能)を 十二分に発揮させることが真の解放」だとした平塚らい てうの言葉にふれ、その実現のために「自己肯定感」を 育てることの重要性を語りました。また、「自民党憲法 改正案」と旧「統一教会」における「家族」の位置づけ を批判し、家族のイメージを広げることの重要性にも言 及しました。

実行委員会代表委員の西川香子さん(子ども全国センター代表委員・新日本婦人の会副会長)は、まとめの挨拶で「多様性を大事にする社会には希望がつまっている」と切り出し、記念講演で学んだことを「早速、このつどいの場で実践していこう」とよびかけました。

現地実行委員会は8月20日夜、高知城ホールで、 ウクライナ難民支援のための平和コンサートを行い ました。



# 開会全体集会・現地企画「ビキニの海のねがい」

高知の妖怪「しばてん」の踊りと「よさこい」で始まった現地企画では、子どもたちの寸劇によって、故森尚水さんの実践—子どもたちが描いた4コマ漫画「まめだ先生」を掲載し、2620号まで続いた地域新聞「うらどっこ」のとりくみが紹介されました。期間中は、森さんの実践をふりかえる展示コーナーが作られました。

次に紹介されたのは、高知県子ども詩集「やまもも」です。この詩集は、「生活綴り方の始祖といわれる小砂丘忠義(ささおかただよし)を生んだ高知に、先人の後を継ぐ骨太の児童詩教育を根付かせたい」という思いで結集した教師たちが1977年に発刊し、45年間続いています。

当日、子どもたちが朗読した詩の1つを紹介します。 「水泳の帰り私は空を見た。満天に広がる複数の星が 私の目にとびついた。その時、私は母の言葉を思い出した。



『こんな星、東京では見れんで。』そんなことを知る前は、 東京が一番だと思っていた。でも、東京では見れない星が 高知にはある。『高知でよかった。』もう一度、空を見上げ、 にっこりした。|

次に、幡多高校生平和ゼミナールの OB のみなさんが、 長崎とビキニで二重被爆した藤井節弥さんとの出会いを 通して、「本当のことを知りたい」と学び、考え、行動す るようになったことを報告。高校生らの調査によってあ きらかになった、県内のビキニ水爆実験被害者のことを 授業で取り上げていこうと、退職教員が中心になり、若 い教師も一緒になって制作した紙芝居が紹介されました。

## フォーラム D **平和な未来を 子どもたちとともに**



コーディネーターの渡辺雅之さん(大東文化大学)は、「憲法は、過去の戦争の反省のもとにつくられ、権力を縛るもの。戦後の民主教育が築いてきたピースマインドは強く日本社会に根づいている。しかし『戦争はよくないけれど武力は必要』という若者たちは少数ではない。教育活動を通して何ができるか、考えよう」と提起しました。

田原ちひろさんは、高校生平和ゼミナール等 8 団体による緊急署名(5212 筆)をロシア大使館に届けたこ

と、「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」(13642 筆)を外務省に提出したことを報告。

村井眞菜さん(四万十町議)は幡多高校生ゼミナールの時に「『当事者の話を聞きなさい、現場に行きなさい』と言われたことを踏まえ、多感な時期に出会う人の影響は大きく人生を支えるもの」と語りました。

中村元紀さん(高知市立小学校教員)は、『世界一美しいぼくの村』を4年生と読みあう中で、「村は破壊されたが友だち同士の関係が破壊されなくてうれしい」と言い希望を見出している子どもの姿を見たといいます。また、自身は「学習会に出て、失敗してもいいんだと思った。1年目は教え込むことを考えていたが、主権者は子どもたち、子どもに返してみようと思った」とも語りました。

「高校生・大学生の皆さんの生き生きした活動の中に、私たちの日々の教室でのたたかいが報われるような気がした」「平和学習の力は、子どもたちを成長させるだけでなく、教師をも大きく成長させていくのだと感じた」等の感想が寄せられました。

## 「いじめ」「不登校」「子どもの生きづらさ」…文科省調査から

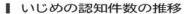
波岡知朗さん(全日本教職員組合教育文化局長)

文部科学省は、10月27日に「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校生徒指導上の諸課題に関する調査結果」を発表しました。そこから見える子どもたちの現状と課題を考えたいと思います。

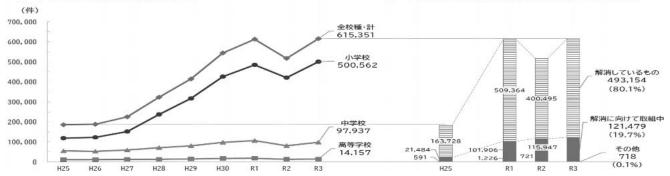
#### 1. 過去最多の「いじめ認知件数」

小・中・高校・特別支援学校での「いじめの認知件数」は 61 万 5351 件 (前年度 51 万 7163 件) と過去最多に達しました。2020 年度に大きく減少したものが再び増加傾向に転じました。文科省は、部活動や学校行事などが再開されて接触する機会が増えたことや、いじめの定義や積極的認知の理解がすすんだことを理由にしています。しかし、コロナ感染予防対策による子どもたちの日常生活での我慢やストレス増大によって、子どもたちの心に及ぼした影響に触れていない点でこの評価には問題があります。

年度末時点でのいじめの解消状況は80.1%で、文科省は早期発見・早期対応が増えていると評価しますが、年度末時点で未解消となっている件数を見ると、2019年度に10万を超え、年々増加傾向し2021年度には12万となっています。いじめの認知件数が増える中で解消できない件数が増えていることを直視し、教職員定数増やスクールカウンセラー等の拡充、少人数学級・指導など教育条件整備をしっかり行うことが求められます。



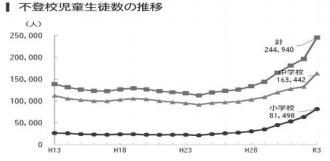
#### Ⅰ いじめの解消状況の推移(各年度末時点)



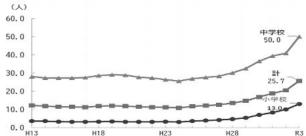
#### 2. 不登校児童生徒数の急増

小・中学校での不登校児童生徒数は24万4940人(前年度19万6127人)で前年度から4万8813人(24.9%)増加しました。文科省は過去5年間増加傾向と記していますが、グラフを見ると2012年以降増加し続け、2018年から急増し、2021年激増したことがわかります。特に、中学校の1000人当たりの不登校児童生徒数が50.0となっており、20人に1人が不登校という高い数字になっています。

文科省は、生活環境の変化により生活リズムが乱れやすかったこと、学校生活で様々な制限があり友だち関係を築きにくかったことなどで、登校する意欲が湧きにくかったなどと説明し、コロナ禍の影響と片付けようとしています。しかし、改訂学習指導要領による授業内容・時間の増加、学校行事・夏休み縮小、ゼロトレ・スタンダード・理不尽な校則など、子どもたちを苦しめる教育を学校に押し付けてきた教育行政の責任を顧みようとしない大きな問題があります。



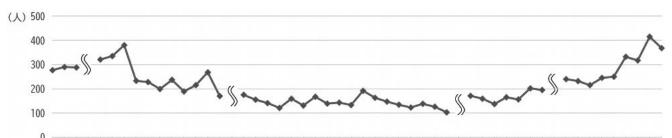
▮ 不登校児童生徒数の推移 (1,000人当たり不登校児童生徒数)



#### 3. 子どもたちの生きづらさを表す「自殺数」の高止まり

小・中・高校から報告のあった自殺した児童生徒数は 368 人で、2020 年度より減少したとはいえ、依然として数が多い状況だといわざるを得ません。文科省は、「『児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議審議のまとめ』を踏まえ、SOS の出し方に関する教育を含めた自殺予防教育や教職員に対する普及啓発等の実施を推進する」と記すに止まり、抜本的な対応を示していません。

子どもたちの生きづらさを感じ取り、寄り添うことができる体制を、学校・地域・家庭が力を合わせてつくることが 急務です。国・自治体には人的・財政的支援を行うことが求められます。



S49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 H1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 R1 2 3

他にも、暴力行為の増加、高校の中退数の増加など、子どもを取り巻く状況がきわめて悪化していることが明らかにされました。子どもたち一人ひとりが安心して幸せに生きていける権利を保障するためのとりくみが強く求められていることを感じる調査結果です。

#### 中学3年生からも抗議の声

## 都立高校入試への英語スピーキングテスト導入反対!

東京で、都立高校の入学者選抜への英語スピーキング テスト導入に反対する動きが急速に広がっています。

都教委は、都内の公立中学校3年生を対象に11月27日に「英語スピーキングテスト」を実施します。英語を「話す力」を測るため、一人ひとりがタブレットに向かって設問の答えを吹き込み、テストを請け負ったベネッセ関連の海外(フィリピン)スタッフが採点し、6段階で評価。それを20点満点で換算し、入試の点数(調査書点等を含め1000点満点)に加算するというものです。

今年7月にスピーキングテスト受験の登録が始まると、「ベネッセに個人情報が流出することになってしまうのでは」と、保護者からも反対の声が広がりました。

設問がベネッセの教材に酷似していることから、「日頃からベネッセの教材を活用している地区の生徒に有利になり、不公平ではないか」という声も上がりました。

また、けがや病気などでスピーキングテストを欠席した生徒や対象外の私立・国立の中学校の生徒については、同じ都立高校を受験し、英語の学力検査の得点が同じ受験生のスピーキングテストの得点を平均して算出するそ

うです。このことについても、「不合理で不公平だ」と批 判が強まっています。

いま、ネット署名や都議会・都教委への請願、要請行動や都庁前スタンディングなど、スピーキングテストの実施と都立高校入試への活用に反対する動きが急速に広がっています。当事者である中学3年生も「このテストで話す力がつくとは考えられません。普段の授業で話す力をつけていく方がよいと思います」「8万人分もの音声を公平に採点することは不可能ではないでしょうか。僕たちの大切な試験に、公平かどうかもわからないものを導入してはいけないと思います」と声をあげています。都議会超党派の議員連盟も結成され、集会や記者会見が精力的に行われています。「おかしい」と声をあげ、あきらめずにとりくむ運動が、全国を励ましています。



### 学校給食費無料化のとりくみの前進を

物価高騰のもと、学校給食の運営に困難が生じています。政府は、保護者の負担軽減のために各自治体が活用できるよう、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を拡充して「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を創設したことを周知する通知を発出(9月12日)し、7月29日時点で全国の自治体の83%にあたる1491自治体が、何らかの形で負担軽減を実施または予定しているとの調査結果を明らかにしました。

教育の無償化の1つとして学校給食の無料化を求めるとりくみは、コロナ禍の前から始まっています。これらのとりくみに学びながら、補助継続の要求も含め、運動を広げていくことが求められています。

#### 青森

#### 3年越しの運動で、中核市でも実現

3年前、「高い給食費が家計を圧迫している。何とかならないか」という声が上がり、「学校給食の無料化をめざす青森市民の会」が結成され、運動が始まりました。

無料化の理論を学ぶことから始め、風船を配りながら 市民の声を聞く署名活動、PTA連合会への働きかけや 議会への請願にとりくんできました。運動の反映で、県 内でも給食費の無料化を公約にかかげる首長候補が増え、 国への意見書が採択された議会が広がりました。

そして青森市でも、10月から市内公立小中学校の給食 費が無料化されることになりました。小中学校がともに 無料になるのは、中核市では初めてのことです。

## 和歌山

#### 県内の児童生徒の 14.4%が無料

給食費の無料化や就学援助費の増額をめざして運動を すすめている和歌山県教組からの報告です。

和歌山では、2013年4月から給食費が無料化された高野町を皮切りに、2022年度までの間に、北山村、古座川町、太地町、すさみ町、広川町(中学校)、紀美野町、新宮市、紀の川市(5年間の時限)、かつらぎ町、湯浅町の11市町村で完全無料化を実施しています。給食費が無料化されている自治体の児童生徒数は、県内全体の14.4%まで広がっています。また御坊市、みなべ町、広



川町 (小学校)、日高川町、那智勝浦町の5市町では、今年度から第3子の無料化が実現しました。

#### 長野

#### 15万筆を目標に要請署名にとりくむ

長野では、8月の知事選で給食費無料化への願いが広がり、9月23日、「明るい県政をつくる県民の会」の主催で「学校給食費の無料化をめざすシンポジウム」が行われ、オンラインを主体に150人が参加しました。

群馬の会の特別報告の後、学校現場の状況や保護者の願い、市町村でのとりくみなどが報告されました。立科町からは、周辺の自治体の多くが無料化を実現。町内で署名の準備を進める中で、秋から無料化が決まったとの報告がありました。学校給食費の完全無料化は県内21町村、一部補助の自治体は52自治体に広がっています。

「県民の会」は、県内小中学校の児童生徒数にあたる 15万筆を目標に要請署名にとりくみ、実現をめざします。

## 群馬

### 県内の自治体の8割が無料化に とりくむ

2014年に「学校給食費の無料化をすすめる会」をスタートさせました。2022年9月現在、県内35自治体の8割を超える29の市町村で無料化に向けた何らかの取り組みが行われており、そのうち完全無料化は14市町村です。現在未実施の藤岡市も、来年4月から第2子以降の無料化を決めています。また、これまで未実施であった川場村と昭和村でも、政府の臨時交付金を使って10月から2022年度中の無料化を実施しています。

群馬の会では、学校教育法で給食の実施に必要な経費は「保護者の負担」とされているが、設置者が保護者に補助することを禁止する趣旨ではないこと、文部省が「給食費を無償化することが理想」と述べていたことなど、学習を深めながらとりくみをすすめています。

あの熱気が帰ってきた!

第67回日本母親大会 in 埼玉・群馬

# 憲法が生きる社会、ジェンダー平等の実現を

石川喩紀子 (子どもの権利・教育・文化 全国センター)

第67回日本母親大会は、10月15日に埼玉県で分科会が、16日に群馬県で全体会が開かれ、オンラインを含め延べ1万4000人が参加しました。

全体会では、法政大学前総長の田中優子さんが「自由を生き抜く実践知」と題して記念講演を行い、「『実践知』とは、実行しながら自らを鍛え知性を磨いていくこと。競争社会のなかで男性と一緒に競争することではなく、自己の力を信じ個人として生きること。多様性を認め尊重しあう社会、憲法が生きる社会をつくりましょう」と呼びかけました。

3つの分科会「コロナ禍、学校はいま」「社会保障と税」「いきいき働き続けるために」と3つの問題別集会のほか、特別企画・映画『あの日のオルガン』の鑑賞、見学分科会などが多彩に繰り広げられました。

問題別集会のひとつ「いま、平和を考える」では、日

本平和委員会の川田忠明さんが「自民党の9条改憲案は 『必要な自衛の措置をとることを妨げず、そのための実 力組織として…自衛隊を保持する』としており、単に憲 法に自衛隊を明記することが目的ではなく、今以上のこ とをやるというのが目的。戦争はある日突然起こるので はない。『攻められたらどうするか』から話を始めるの はそもそも政治の失敗を言うに等しい。憲法をフル活用 して、戦争準備ではなく平和の準備(戦争阻止)をすべ き」と強調しました。

ジャーナリストの布施祐仁さんも「緊張緩和や信頼醸成のための外交(紛争予防外交)が不可欠であり、日本は ASEAN と協力して米中戦争が起こらないようにすべき」と話しました。

大会は3年ぶりに全国からの参加者の熱気があふれ、 各地・分野からのとりくみの報告と交流を楽しみました。

完成間近!

リーフレット

## 「政府が教科書を書き替えさせる…。どう思いますか?」

小林善亮さん (自由法曹団)

2021年、政府が「従軍慰安婦」ではなく「慰安婦」が適切、「強制連行」や「連行」ではなく「徴用」が適切と閣議決定しました。これを受けて文部科学省が、「従軍慰安婦」や「強制連行」との用語を使っている教科書の修正を促しました。

教科書を通じて、政府の意見 を子どもに教え込む先には憲法 「改正」が待っています。

自由法曹団と子どもと教科書 全国ネット 21 が発行する、わ かりやすいリーフレットが近日 中に完成します。



A4 判四つ折り A6 判 1 部 10 円を予定しています。

ご予約・ご注文は

自由法曹団(TEL03-5227-8255/FAX 03-5227-8257)まで。

#### リーフレットの主な内容

- いったん教科書検定で合格
  - ⇒ 突然、政府から不適切と言われて
  - ⇒ 文科省が教科書会社に「修正」の説明会開催
- 「従軍」「連行」って不適切なの?
- 教科書の内容に政府が介入してくるって普通なの?
- どうして政府の意見で教科書が変わったの?
- 子どもの学びを保障するために、教科書は学問的・科学的な視点で

## 終わらないコロナ禍 12 月にも多彩な催しが

みなさまぜひ、ご参加ください



## 第68回 子どもを守る文化会議 今 改めて 子どもの身近な文化 「本」について考える

12月3日(土)13:30~16:30 東京労働会館ラパスホール+オンライン

講演 酒井京子さん

紙芝居文化の会代表、童心社会長

話題提供 ほんごう子ども図書館

親子読書地域文庫全国連絡会

NPO ブックスタート

参加者の交流

参加費500円(高校生以下無料)

主催:第68回子どもを守る文化会議実行委員会

#### 憲法と子育て・教育を考えるつどい

12月17日(土)13:30~16:30 全国教育文化会館7階ホール+オンライン

核戦争の危機、平和と民主主義の破壊に立ち向かい 憲法をいかし、子どもの育ちと学びをどうはぐくむか

part I 武力でいのちと平和は守れるか 今こそ9条の理念を世界に! 行動する若者たち、沖縄から 他

part I 子どもの生きる権利、学ぶ権利を守るには 教育 DX、こども基本法、こども家庭庁

参加無料、カンパをお願いします

主催:「つどい」実行委員会/教育子育て九条の会

## 子どもの権利条約市民・NGO の会 学習研究会

12月18日(日) 13:00~16:00 オンライン 子ども・親・教師の現状を知り みんなで考えよう

- 学童保育から見た子ども
- 学校の ICT 化の現状 大阪・箕面市
- 子どもたち・学校の現状と教職員のとりくみ 京都・小学校教員、広島・中学校教員

資料代:1,000円(学生、子ども無料)

主催:子どもの権利条約市民・NGO の会

## 第31回全国教育研究交流集会 保護者、地域との共同から 新自由主義教育改革の対抗軸を

12月25日(日)13:00~17:00 全体会(全国教育文化会館+オンライン) コロナ禍の分断を越える参加と共同を - アメリカの教員組合運動に学ぶ —

講演 バーバラ・マデローニさん(レイバーノーツ) 鈴木大裕さん(教育研究者・土佐町議員)

12月26日(月)10:00~16:00 分科会(完全オンライン)

主催・民主教育研究所

\*